

鬼北町立広見中学校

道徳通信

NO. 30

令和7年11月14日発行

よりよく生きる

3年生道徳授業の紹介「カラフルな世界で」（読み物資料）

【資料のあらすじ】

主人公・井手上漠さんは、小学校5年生のとき、自分のことについて悩み始める。井手上さんは、自分らしさを押し殺し、周りに合わせて生きようとする。中学2年生のある日、井手上さんの様子を心配した母が声を掛ける。井手上さんの話を聞いた母は、「漠は漠のままでいいんだよ。」と受け入れた。それから井手上さんは、ファッションやメイクなど、興味があることに打ち込むようになった。カラフルな世界で自分らしく生きようになる。



自分らしく生きていくために大切にしていきたいことは？（生徒の意見）

- ・自分の考えを大切にする。本当の自分を隠さない。好きなことは好きと言う。思ったことは正直に伝える。何事も、一生懸命取り組む。
- ・自分がそのとき感じたこと、したいことを自由にする。周りに無理に合わせない。
- ・周りに流されず、自分の意思を持つ。自分の個性を認めてあげる。自分に嘘を付かない。
- ・周りの否定的な意見は聞かないようにする。
- ・悩みがあったら、ひとりで抱え込まないで、自分が信頼している人に相談することが大切だと思います。
- ・自分の「本当」を、自分でつぶさずに隠さないこと。

友達や周りがその人らしく生きるためには？

- ・相手を否定せず、まずは認めること。相手の好きなことや嫌いなことがどんなことかを知ること。
- ・互いに認め合うこと。否定しないこと。
- ・自分の考えを相手に強要せずに、友達や周りの考えも聞くこと。相談に乗ること。相手の考えを尊重すること。「普通」という考えをなくすこと。
- ・その人のよさをしっかり見て、否定しないこと。

人は、一人ひとりが他者とは異なる個性、独自性を持っています。これらには、「性の在り方に対する認識」も含まれていて、それは個々人の人格に密接に結び付いているものです。性に関わる内容も含め、かけがえのない自分を肯定的に捉えることで、お互いの個性や人格を尊重することもできるようになります。

中学生は、これまでの他者との関わりの中で、自分らしさに気付いた生徒もいると思います。多様性を理解し、視野を広げ、尊重し合うことで、自分らしい生き方に対する考えは、より深まっていくのかもしれない。